立花生徒会新聞 Gerbera 通信

第9号　平成24年
9月3日
尼崎市立立花中学校
生徒会執行部　発行

夏休みが終わって

夏休みが明けて新学期が始まりました。

四十四日間もの長期休みで生活のリズムがくずれてしまってはいないでしょうか。学校がないと気がぬけて、夜遅くまでテレビを見ていて、朝起きるのに影響した。友だちと遊び呆けていた。ずっと冷房のきいた部屋でゴロゴロと遊んでいた。そうして部屋にいるにもかかわらずまだまだ先だと宿題を後回しにして、気がつけば八月の終わりだった。なんてことになった人はもしかするといるかもしれません。もちろん多少の息ぬきは大切ですが、そんな状態で二学期を始めてしまえば、宿題をやり忘れてしまったり、朝起きるのがしんどくて授業に集中できず、先生に注意されてしまったりすることがあるかもしれません。また、冷房のきいた部屋に慣れていたら学校はとても暑く感じられるのではないかと思います。

二学期は一番日にちが多い学期です。生活のリズムがくずれたままでは楽しく学校生活を送ることはできないと思います。元気であればこそ勉強できるので、体調管理は学校生活を送る上では大切です。毎日を元気に過ごすために早寝早起きをして、きちんと朝ごはんを食べ、くずれた生活のリズムを早く元に戻すようにしましょう。

また、二学期はテストも多い学期です。もちろん夏休みの宿題とともに一学期の、三年生ならば一年生からの総復習をしたと思います。勉強は目標を持って挑むことが大切です。これは勉強だけではなく、何に対しても言えることですが、その日のノルマとか、目に見える目標があると人間は集中力が続くものです。

勉強の集中力が続かない人はまず、テストや提出期限までにすることの優先順位を考えて、簡単なものから手をつけて数をこなすか、あえて難しいものからやって残りを楽にするかして気分よくはじめるといいと思います。

立花中学校の学習方法「TTB48」のように時間制限を設けてその間は集中するようにすれば効果は上がるでしょう。

もう新学期は始まっています。悔いの残らないものにしましょう。

近畿大会出場

総合体育大会で勝ち進み近畿大会に出場したクラブがあります。男子硬式テニス部、水泳部、陸上部です。私たちは今回、男子硬式テニス部の試合を見に行かせていただきました。

試合が始まる前は和気あいあいという言葉がぴったりな雰囲気でしたが、試合がせまりいざコートの中に入ると試合が始まるということを実感させる緊張した雰囲気を漂わせていました。試合中選手はもちろんのこと試合に出ていない応援の人たちも一生懸命に頑張っていました。私たちが見たある試合では、最初のほうは相手の学校がリードしていたのですが、応援の声もあって同点まで持ち込むことができました。そのとき応援の力はすごさを実感しました。

男子硬式テニス部の試合を見ていて、とても印象に残ったことがあります。それは楽しみながら試合をしていたことです。全国大会出場がかかっている大きな試合で、応援の人たちの分まで、楽しみながら試合するということが素晴らしいと感じました。私は、お互いに励まし合い、クラブ全体が一つになって頑張ることが、所属してこそ味わえる、クラブ活動の醍醐味だと思います。ですから、この男子硬式テニス部の試合は、部活動の醍醐味を感じられたのではないでしょうか。

今回試合を見させていただいて、私たちは一つになって頑張るということの素晴らしさを感じまた多くのことを学べました。その学んだことを、これからの生徒会活動に生かしていきます。

最後に水泳部と陸上部の皆さん、こちらの都合で大会を見に行けなくてすいませんでした。男子硬式テニス部、水泳部、陸上部の皆さん、近畿大会出場おめでとうございます。

ガーベラの花言葉
常に前進・希望
(立花中学校、全員で常に前進していきましょう)

課題テスト

九月四日に一、二年生は課題テスト、三年生は実力テストがあります。一年生は課題テストは初めてだと思いますが、このテストは夏休みまでの範囲の復習テストのようなもので、どのくらい理解しているかということを確認するものです。ですから、宿題をきちんとしていれば、テスト勉強になると思います。

三年生は課題テストではなく、実力テストになります。実力テストというのは、受験生にとって、進路を決める鍵になるとても大切なテストです。一学期のテストでよい結果が出せなく進路について困っていた人も、実力テストでよい結果が出せると、成績も変わっていくと思います。ですから、今からでも変わろうと思う人は、実力テストを頑張ることが大切だと思います。

初めに課題テストについて説明したように、一年生、二年生の課題テストは夏休みまでの範囲がどのくらいわかっているかを確認するテストです。確認だから、といって実力でテストをうけるのではなく、きちんと勉強し、準備を整えてうけることが大切です。ですから、しっかりと勉強するようにしましょう。

テストというのは、もちろん結果が大事です。ですが、結果だけが全てではないと思います。僕は結果よりも勉強に取り組む姿勢のほうが大事であると思います。普段、あまり勉強しない、そういう人が多いのではないでしょうか。ですが、テスト前になると自分が満足できる結果をだすために、一生懸命に勉強すると思います。その姿勢というのが、とても素晴らしく、大事だと思います。僕は結果というのは勉強をすれば、自然についてくると思います。これは、姿勢とも関係しているのではないでしょうか。勉強する姿勢がよいと自然に結果がついてくる、そう思えます。ですから、まずは結果のことを考えるより、勉強の姿勢について考えてみてはどうでしょうか。

中学校には一年間に多くのテストがあります。たくさんあるからといって、一つくらい勉強しなくても、と思うのではなく、一つ一つのテストに一生懸命に取り組むようにしましょう。

きちんと勉強して、自分が納得できるようなテストにしましょう。

宿泊学習

1年生は、9月14日～15日に宿泊学習に行きます。宿泊学習は1年生全員でどこかに行くというもので、クラスや学年の『絆』を深めるための良い機会だと思います。班活動や学年全員での出し物など、たくさんの楽しみと学びがあり、とても充実した宿泊学習になるのではないでしょうか。

2年生・3年生も、1年生のころに宿泊学習に行っています。やはり、1年生での大きな行事の中の一つで思い出がたくさん作れて、印象がとても強く残っていることだと思います。そして、絆も深まり帰ってきた後もたくさんの行事で、宿泊学習で学んだことが活かされてきていると思います。

宿泊学習は、これからの合唱コンクールなどの大きな行事にもつながってくると思います。班単位だとしても、クラスでも学年でも、そこにいる全員が自分の行動を意識することで一つの行事が成功するのではないかと私は思っています。ですから、一人一人の気持ちがとても大切なのです。

普段の生活の中でも、活かせる事はたくさんあるのではないでしょうか？例えば、「時間を守ること。」「けじめをつけること。」などがあると思います。時間を守ることやけじめをつけることは、どんな場面でも必要なことです。そして、一人一人の意識がなければできないことです。このことは宿泊学習でも、大切なことだったのではないでしょうか？このように、宿泊学習での経験のいろいろなことが普段の生活に活かされています。みなさんも、身近なことから宿泊学習での経験を活かせることを探して、実行してみてはどうでしょうか。きっと、いつもの生活と違った良い部分がでてくると思います。

最後に1年生のみなさんは、この宿泊学習が成功して全員が「充実したとても楽しいものになった。」と思えるように、しっかり協力して良い経験をし、これからに活かしていけるように頑張ってきてください。

2年生や3年生は今まで経験してきたことをもとに、これからのたくさんの行事を成功できるようになり、1年生のお手本になって引っ張っていけるような先輩を目指して、頑張りましょう。

編集後記

夏休みが終わりました。もう長い休みではないので気持ちを切り替えて、気持ちのよい学校生活を送りましょう。

（池田・竹尾・若狭・池本・梶本）